



NetCommons をベースに既存のコンテンツを活用



NetCommons を採用したホームページです。当初、日光市 Web サーバへの構築を検討しましたがセキュリティーの関係上実現できず、日光市と日光市教育委員会の御協力により、民間ホスティングサーバとの契約によるサーバ環境を整えました。ホームページの作成に当たっては職員や保護者などからの声を反映し、ホームページをデザインしています。また、旧ホームページのコンテンツも、モジュールをうまく使い活用しています。各モジュールの特長を活かした、新規導入の手本のような学校ホームページです。

1 **学校名** 日光市立落合西小学校
研究協力委員 齋藤 幸成 教諭

2 CMSによるホームページの構築

(1) サーバ環境

民間業者のホスティングサーバを利用
〈ホスティングサービスの内容〉

- サーバ容量 (www・メール他合計) 10GB
- メールアカウント数 200 個まで
- FTP アカウント数 10 個まで

(2) 構築作業 (技術的内容)

- ① 日光市に民間業者とのホスティングサーバ契約を依頼する。契約後に民間業者より付与された FTP アカウント・パスワードを使用し、学校担当者側で NetCommons システムの構築に当たる。
- ② NetCommons サイト (<http://www.netcommons.org/>) よりコアパッケージ用 NetCommons1.0.11.zip をダウンロードし解凍する。「docs」と「html」のフォルダの内、「html」フォルダをサーバへアップロードする。
- ③ アップロードした「html」のフォルダ名を「ochinishi」に変えることで URL ディレクトリ名を学校名に変更することができる。
- ④ ブラウザに URL (<http://www.nikko.ed.jp/ochinishi/index.php>) を入力すると、インストールの初期画面が表示される。手順に従って NetCommons のインストールを行う。

(3) 構築のポイント

- ① 日光市の場合、セキュリティーの関係上、公的な機関から民間業者のホスティングサーバへのアップロードを行うことができないので、自宅での作業となった。今後、複数校でこのシステムを導入していく際には、民間業者あるいは市側に協力してもらう必要がある。
- ② 自宅でファイル転送をするのに FFFTP を使用したが、ウィルスソフトなどの関係から NetCommons フォルダのアップロードを1度の作業で完了することができなかった。そのため、下位フォルダやファイルからアップロードしていくことで対応した。
- ③ NetCommons1.0.11 のアップロード後、index.php が動作しなかったために民間業者に連絡し、対応してもらった。ホスティングサーバであってもこういったケースが考えられる。



3 CMSによるホームページの運用

(1) ホームページ的设计

Top ページには、落西小だより（学校での出来事など）やお知らせ、行事予定などを掲載し、ID・パスワード入力後に閲覧できる [GroupRoom] 内のページには、掲示板と各学年のページを載せることにした。

(2) 作成作業（技術的内容）

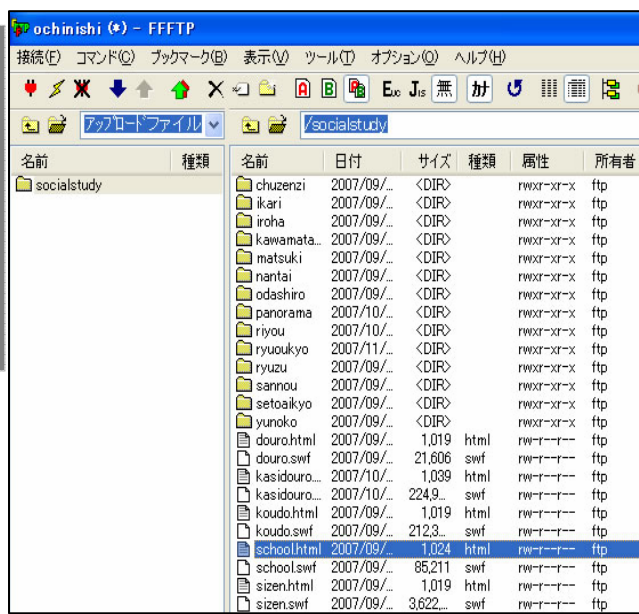
① 各ページ作成について

落西小だよりなど、各ページ作成には、NetCommons に導入されている [日誌] などのモジュールを利用し、開かれた学校づくりに効果的なホームページになるように考えてきた。

② 社会科資料集のリンクについて

社会科資料集のリンクには [リンクリスト] モジュールを使用した。Flash8 を使って作成したページであり、公開していないものについては下記の手順を踏んだ。

- ・ Flash で作成した編集ファイルを除く html ファイルと Flash ムービーのファイルを用意する。
- ・ 自分のコンピュータにフォルダをつくり、作成したそれぞれの上記ファイルをまとめて入れる。今回フォルダ名は「socialstudy」とした。
- ・ 次に ffftp を使い「socialstudy」フォルダを、サーバの「ochinishi」フォルダ外にアップロードする。



- ・ アップロード後、NetCommons の [リンクリスト] モジュールに URL を登録することで教材の閲覧が可能になる。

③ 画像への直接リンクについて（お天気情報など）

[お知らせ] モジュール内に HTML タグを入力し、オプション「HTML タグを有効にする」にチェックする。

〔例〕

`[upload_image align=left`

↑ ↑ ↑

リンク設定のタグ リンク先 URL リンク先の別ウィンドウ表示のタグ

`path=/announcement/1]get_adobe_reader[1]009.gif[/upload_image]`

↑

画像

④ Google map について

Google のアカウントを取得し、マイマップ作成後、HTML のタグを【お知らせ】モジュール内に貼り付ける。これにより、ホームページのモジュール枠内に地図が収まるようになる。

(3) 運用体制

管理者は校長であり、【日誌】モジュールなどの公開について承認機能を利用した承認権限を持つ。各担当者が作成したページをチェック後に公開している。

(4) 運用のポイント

日々の学校の情報を保護者・地域に提供していけるよう、組織体制を確立していくことが必要である。

4 活用事例

(1) ホームページデザイン

【トップページ】

| | |
|-------------|------------------------------|
| 「落西小だより」 | 全職員（週3回程度の更新） |
| 「学校からのお知らせ」 | 全職員（必要に応じて更新） |
| 「不審者情報」 | 校長・児童指導主任（必要に応じて更新・PDF ファイル） |
| 「保健室だより」 | 養護教諭（必要に応じて更新） |
| 「行事予定」 | 教務主任（必要に応じて更新） |
| 「今週の生活目標」 | 生活当番担当（週1回） |

(2) モジュール活用例

【新着情報】

トップページ

【日誌】

「落西小だより」・「学校からのお知らせ」・
「保健室だより」・「教育目標」

【リンクリスト】

「Web Album」・「日光市の社会科資料」・
「学習に役立つサイト集」・「リンク集」

【キャビネット】

「不審者情報」

【カレンダー】

「行事予定」

(3) 【GroupRoom】の活用例

【ログイン内【GroupRoom】】

【掲示板】（【掲示板】モジュール）

「市教委・市内小・中学校掲示板」・「本部PTA 掲示板」・「スクールガード掲示板」・
「職員連絡掲示板」

【学年のページ】（【日誌】モジュール）

「1年生のページ」・「2年生のページ」・「3年生のページ」
「4年生のページ」・「5年生のページ」・「6年生のページ」

(4) その他

職員・保護者へのアンケートや直接の声などをもとにホームページのデザインを行った。保護者へのアンケート結果では、ホームページに期待する内容として、「子どもたちの活動を伝えるページ」が全体の33%、「行事予定のページ」が23%であり、合わせると全内容の過半数を占めた。次いで、「不審者情報」や「掲示板による情報交換の場の提供」という結果になった。

【お知らせ】

「今週の生活目標」・「携帯電話用ホームページアドレス」・「学校住所・連絡先」・「夢あふれる学校づくり」・「お天気情報（日光市長畑）」・「Yahoo!天気予報」・「学校の歩み」・「校歌」・「アクセス」・「ホームページ御利用について」

【フォトアルバム】

「日光の自然」

そこで、上記内容を踏まえ、トップページには、常時更新していくものと、必要に応じて更新していくものとに分け、トップページ内の各ページを作成した。また、その他には地域における社会科資料など、学習に活用できる教材や、天気予報などの情報も掲載した。

ログイン内 **[GroupRoom]** には、各掲示板と学年のページを作成した。

掲示板についてはそれぞれの関係者以外は閲覧や投稿ができないように配慮した。「本部PTA 掲示板」・「スクールガード掲示板」は主に管理者である校長・教頭が担当しており、日々の連絡など情報交換の場として有効に活用されている。また、「職員連絡掲示板」は、当初、CMSについての職員の理解のために設けたものであるが、使い方に慣れてくるに伴い、日々の校務や教材などの情報交換に活用できるまでに至っている。

また、一般保護者に対しては、各学年別にIDとパスワードを配付した。**[GroupRoom]** 内にゲストとして登録し、学年のページのみ閲覧ができるように設定した。

5 まとめ

(1) メリットとデメリット

○ メリット

- ・ NetCommons1.0.11 の場合、デザイン性に幅はないが、学校の情報を伝えていくという基本的な機能は十分である。各モジュールをうまく活用することで、効果的に情報の提供や共有ができる。
- ・ ID・パスワードを使ってログインすると **[GroupRoom]** が追加され、関係者内での情報交換が可能である。(掲示板など)
- ・ 従来のホームページのようにファイルの構成を気遣うことが少ないので、管理がしやすい。
- ・ アクセスログ分析がサーバのコントロールパネルにログインすることで閲覧できる。(サーバ機能)
- ・ ブラウザが使用できればどのコンピュータからも記事の投稿ができ、従来のホームページのようにFTPによるアップロードの必要がないことから、組織ぐるみでホームページの更新ができる。記事の掲載も決定ボタン一つで公開できるため、更新率も格段に向上した。
- ・ NetCommons の基本構成は分かりやすく見やすい。
- ・ Top ページに子どもたちの活動などの情報を掲載していくことで、学校の日々の取り組みが理解しやすい。特に、校内での活動は保護者にとって知りたい情報なので、写真とコメントを掲載するだけでも学校理解に大いに役立っている。
- ・ NetCommons を利用していただいている保護者からは、閲覧がしやすく学校での行事などタイムリーに知ることができることや、子どもとの会話の話題づくりに生かせること、さらには、掲示板の書き込みがしやすく情報交換に役立つという声など、現時点での評価は高い。

○ デメリット

- ・ コンピュータのスペックや環境により動作に差が見られる。クリック後、ワンテンポ遅れてページが表示されるコンピュータについては、更新の時に扱いにくい。
- ・ 掲示板は情報交換に役立っているが日々の管理が必要である。ID・パスワードによる制限を設けているので、関係者以外の投稿はできず安心であるが、投稿に対する返答は即時性が求められるので、できれば日に一度はログインし、内容を確認する必要がある。

(2) 今後の課題

- ・ 本校ではCMSの推進に理解を得ることができ、全職員の協力のもとホームページの更新作業を行っているが、コンピュータの扱いに慣れた職員ばかりではないので、負担をかけてしまっているケースもある。現在、学年ブロックやチームでの更新体制も視野に入れ、より有効な校内での組織化を検討中である。